



## 青森県感染症発生情報 (2026年第11週)

### I 第11週の発生動向 (2026/3/9~2026/3/15)

- インフルエンザについては、東津軽+青森市保健所管内の定点当たり報告数が新たに**警報レベル**となり、三戸+八戸市保健所管内、上北保健所管内及び下北保健所管内で**警報**が継続しています。また、中南保健所管内及び西北保健所管内で**注意報**が継続しています。県全体の定点当たり報告数は減少していますが、引き続き新型コロナウイルス感染症の予防も兼ねて、ワクチン接種を含めた基本的な感染対策の徹底をお願いします。季節性インフルエンザの発生状況・型別等の情報については、県庁HP「インフルエンザに注意しましょう!」をご覧ください。☞ [インフルエンザに注意しましょう! \(県保健衛生課\)](#)
- 水痘については、東津軽+青森市保健所管内の**注意報**は**解除**となりました。

※現在、国及び国立健康危機管理研究機構が警報・注意報の基準値について確認を進めているところですが、県の週報に記載する発生動向では、当面の間、従前の基準値を用いて注意喚起を行います。

#### <感染症の窓>

今週のテーマは「インフルエンザ」です。

最終ページに掲載しています。

### II 第11週五類定点把握象疾患

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

■は警報、■は注意報、「空欄」: 患者報告無し。

	東青 (東津軽+ 青森市保健所)		中南 (中南保健所)		三八 (三戸+ 八戸市保健所)		西北 (西北保健所)		上北 (上北保健所)		下北 (下北保健所)		青森県計		前週 からの 増減
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	
急性呼吸器感染症															
インフルエンザ	411	37.36	117	11.70	156	15.60	95	15.83	122	13.56	177	29.50	1078	20.73	-187
新型コロナウイルス感染症	27	2.45	18	1.80	43	4.30	22	3.67	33	3.67	9	1.50	152	2.92	20
急性呼吸器感染症	1352	122.91	467	46.70	504	50.40	283	47.17	505	56.11	551	91.83	3662	70.42	180
小児科															
RSウイルス感染症	4	0.67	1	0.17			7	1.40	1	0.17	3	0.75	16	0.47	0
咽頭結膜熱	2	0.33	5	0.83	3	0.43							10	0.29	4
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	19	3.17	14	2.33	20	2.86	27	5.40	6	1.00	9	2.25	95	2.79	11
感染性胃腸炎	42	7.00	19	3.17	23	3.29	15	3.00	4	0.67	8	2.00	111	3.26	-12
水痘	1	0.17	3	0.50			1	0.20					5	0.15	-14
手足口病															0
伝染性紅斑	1	0.17											1	0.03	0
突発性発しん			2	0.33	3	0.43							5	0.15	-2
ヘルパンギーナ															0
流行性耳下腺炎															0
眼科															
急性出血性結膜炎															0
流行性角結膜炎															0
基幹															
感染性胃腸炎(ロウイルス)															0
クラミジア肺炎															0
細菌性髄膜炎															0
マイコプラズマ肺炎			1	1.00							11	11.00	12	2.00	4
無菌性髄膜炎															0

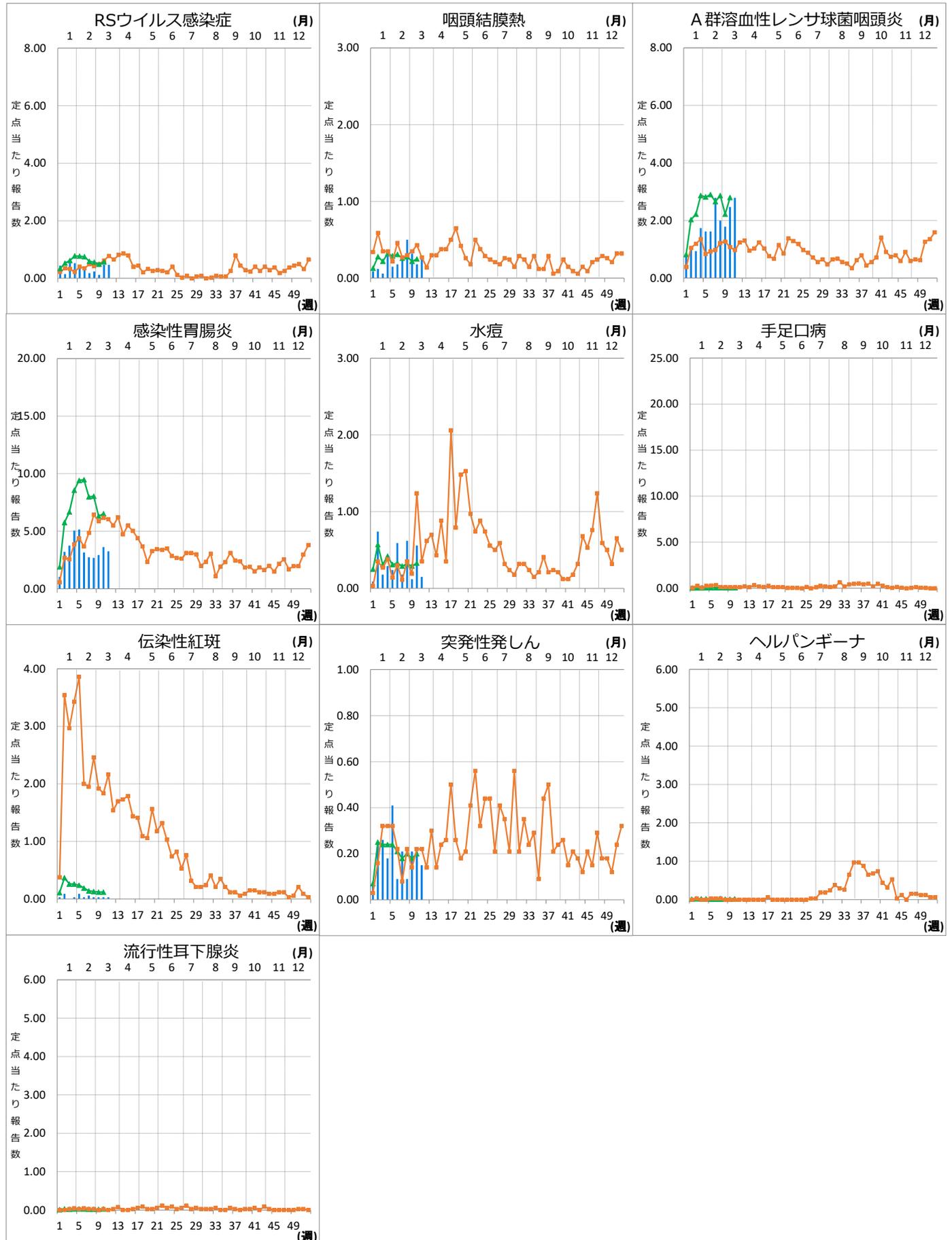
### III 定点把握対象疾患週別推移 (急性呼吸器感染症定点) (2026年第11週、ただし全国は前週)

グラフの説明: 〓は2026年青森県、■は2025年青森県、▲は2026年全国



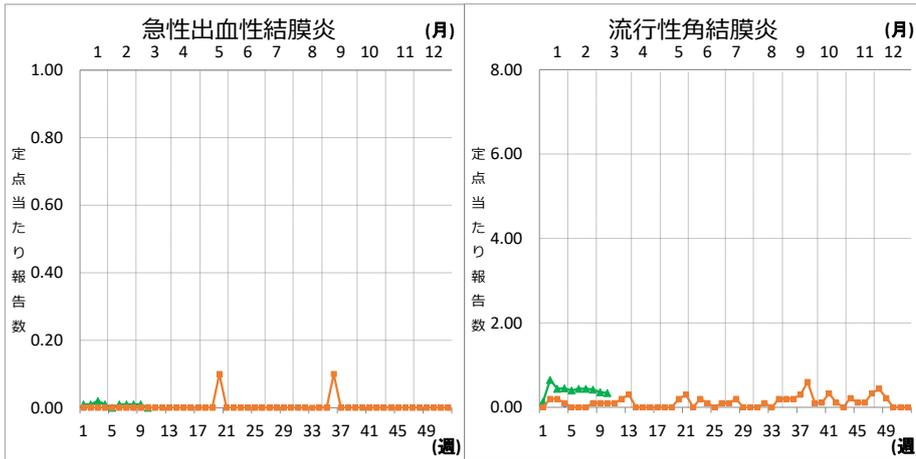
IV 定点把握対象疾患週別推移（小児科定点）（2026年第11週、ただし全国は前週）

グラフの説明 —■—は2026年青森県、■—■は2025年青森県、▲—▲は2026年全国



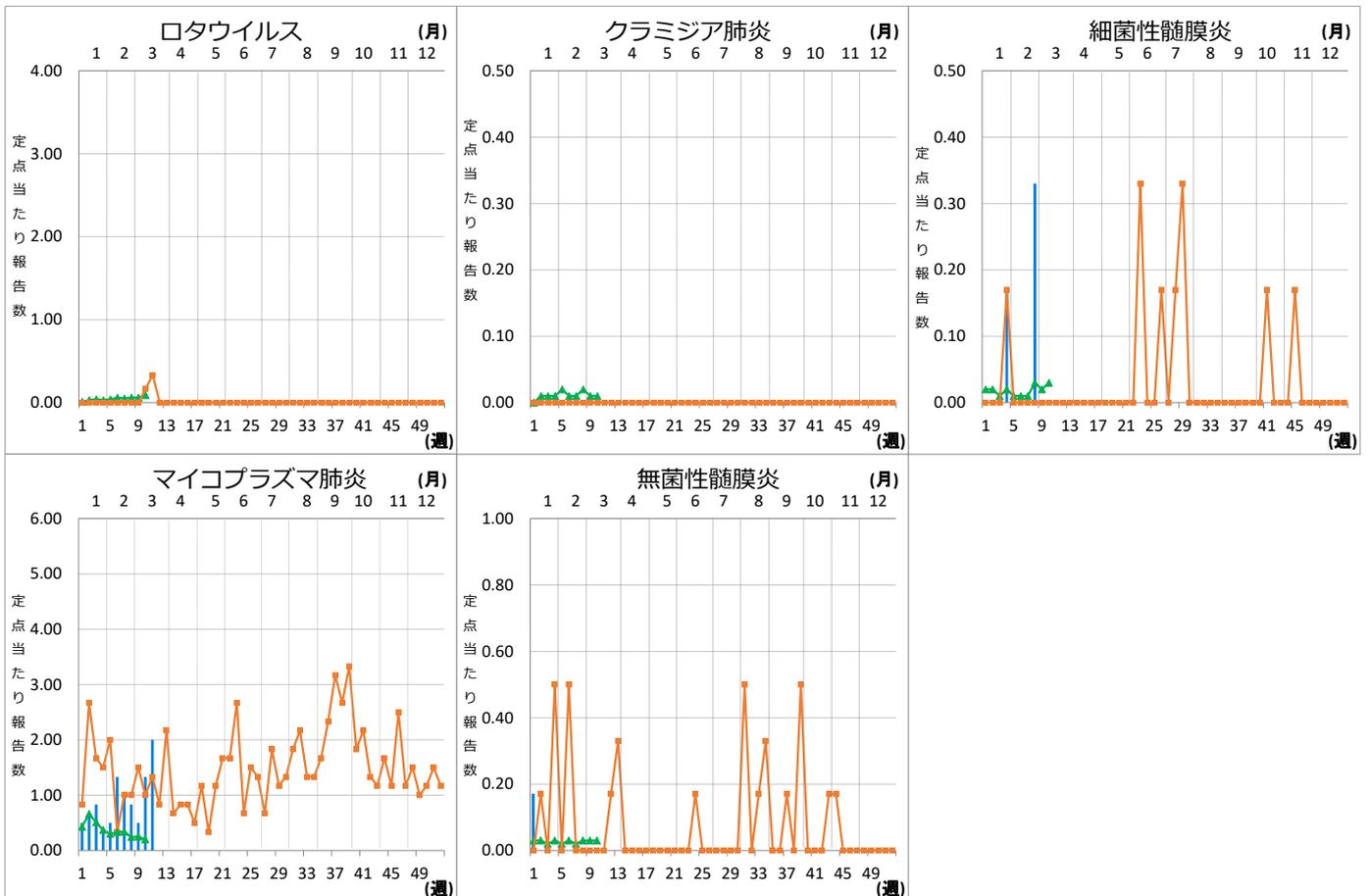
V 定点把握対象疾患週別推移（眼科定点）（2026年第11週、ただし全国は前週）

グラフの説明 ← は2026年青森県、■—■は2025年青森県、▲—▲は2026年全国



VI 定点把握対象疾患週別推移（基幹定点）（2026年第11週、ただし全国は前週）

グラフの説明 ← は2026年青森県、■—■は2025年青森県、▲—▲は2026年全国



## Ⅶ 急性呼吸器感染症(ARI)病原体検出情報

### (1) 急性呼吸器感染症病原体定点からの提出検体数及び結果判明分(2026年第4週～11週)

急性呼吸器感染症	2026年							
	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週
提出検体数	7	7	6	8	7	11	5	6
インフルエンザウイルスA	0	0	0	0	0	0	0	0
インフルエンザウイルスB	1	5	4	4	4	7	2	
SARS-CoV-2	0	1	0	0	0	1	0	
RSウイルスA	0	0	0	0	1	2	0	
RSウイルスB	1	0	0	0	0	0	0	
ヒトメタニューモウイルス	0	0	0	0	0	0	0	
パラインフルエンザウイルス1	0	0	0	0	0	0	0	
パラインフルエンザウイルス2	0	0	0	0	0	0	1	
パラインフルエンザウイルス3	0	0	0	0	0	0	0	
パラインフルエンザウイルス4	0	0	0	1	0	0	0	
ライノ/エンテロウイルス	1	1	0	2	1	0	2	
アデノウイルス	0	0	0	0	1	0	2	
不検出	4	0	2	2	1	2	1	
検査待ち	0	0	0	0	0	0	0	6

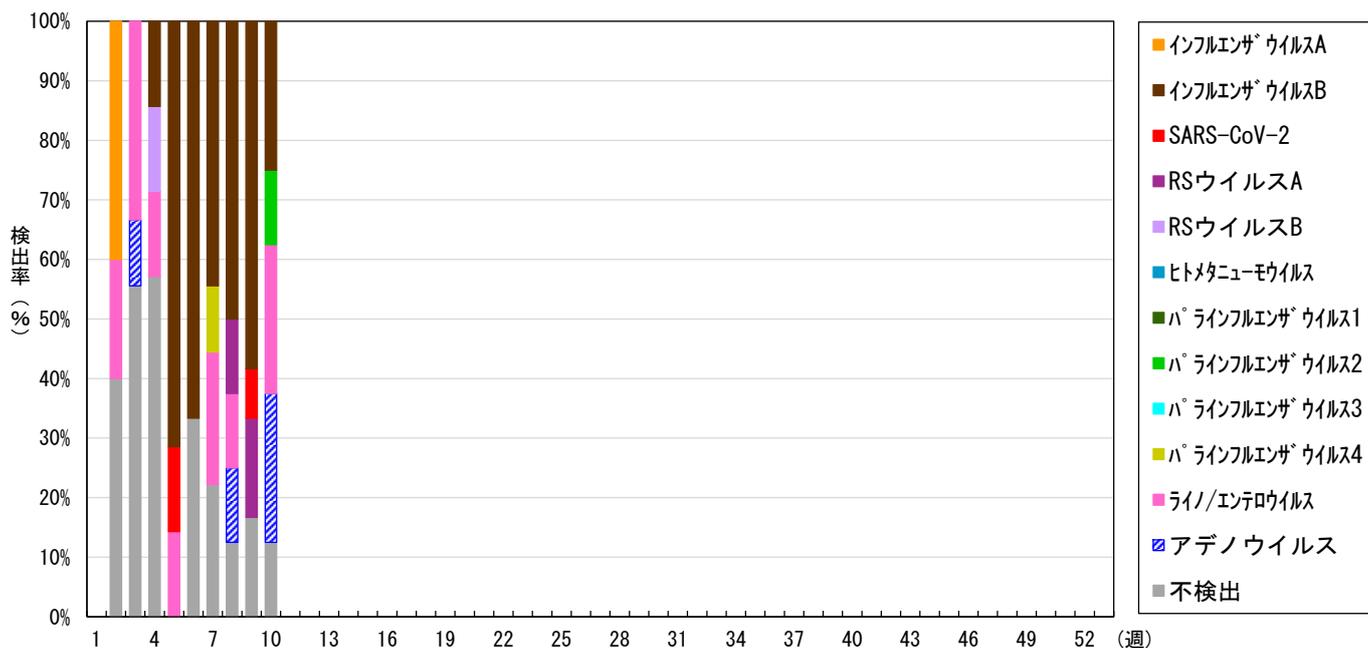
※第7週に提出された検体のうち、ヒトパラインフルエンザウイルス4及びライノ/エンテロウイルスが重複して検出されたものが1検体ありました。

※第8週に提出された検体のうち、RSウイルスA及びライノ/エンテロウイルスが重複して検出されたものが1検体ありました。

※第9週に提出された検体のうち、SARS-CoV-2及びRSウイルスAが重複して検出されたものが1検体ありました。

※第10週に提出された検体のうち、ライノ/エンテロウイルス及びアデノウイルスが検出されたものが1検体、インフルエンザウイルスB、ヒトパラインフルエンザウイルス2及びライノ/エンテロウイルスが重複して検出されたものが1検体ありました。

### (2) 検出された病原体の週別推移(2026年第1週～10週)



**Ⅷ 全数把握対象疾患発生状況（第 11 週）**

- ・結核(二類感染症)：青森市 1 人 (2026 年計： 16 人)
- ・腸管出血性大腸菌感染症(三類感染症)：上北 1 人 (2026 年計： 4 人)
- ・A 型肝炎(四類感染症)：青森市 1 人 (2026 年計： 3 人)
- ・梅毒(五類感染症)：西北 1 人 (2026 年計： 2 人)

**Ⅸ 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況（2026 年第 8 週～2026 年第 11 週）**

週	東青 (東津軽保健所+ 青森市保健所)	中南 (中南保健所)	三八 (三戸保健所+ 八戸市保健所)	西北 (西北保健所)	上北 (上北保健所)	下北 (下北保健所)
8	A型肝炎1人		百日咳1人			
9		劇症型溶血性レンサ 球菌感染症1人 侵襲性肺炎球菌感染 症1人	結核1人 百日咳1人	結核1人		
10	結核1人 A型肝炎1人 クロイツフェルト・ヤコ ブ病1人 百日咳1人	結核1人				
11	結核1人 A型肝炎1人			梅毒1人	腸管出血性大腸菌感 染症1人	

**X 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）**（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

**全国**（2026年第1週～第10週までの累計）

分類	二類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокクス症	エムポックス	オウム病
累積報告数	2436	13	278	5	4	130	28	1	21	1
分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類
疾病名	重症熱性血小板減少症候群	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	マラリア	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症
累積報告数	5	31	20	5	5	337	2	81	37	177
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	急性弛緩性麻痺	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症
累積報告数	6	95	3	27	314	158	6	95	12	638
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	
疾病名	水痘（入院例）	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症	
累積報告数	133	1903	40	14	13	1838	1	100	5	

**青森県**（2026年第1週～第11週までの累計）

分類	二類	三類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	A型肝炎	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒
累積報告数	16	4	3	1	3	1	2	5	5	2
分類	五類									
疾病名	百日咳									
累積報告数	9									

**XI 病原体検出情報**

報告はありませんでした。

## Ⅷ 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

2026年第11週

報告週	施設種別	発症者数	管轄保健所
第11週	介護・老人福祉関係施設	14	青森市保健所
第11週	障がい関係施設	18	青森市保健所

2026年報告件数及び症者数

施設種別	月(週)	1月	2月	3月			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計 (施設別)
		1-5週	6-9週	10週	11週	12週	13週	14-17週	18-22週	23-26週	27-31週	32-35週	36-39週	40-44週	45-48週	
介護・老人福祉関係施設	件数	2	2	2	1											7
	発症者数	37	44	25	14											120
児童・婦人関係施設等	件数	4	0	0	0											4
	発症者数	92	0	0	0											92
障がい関係施設	件数	1	0	0	1											2
	発症者数	20	0	0	18											38
その他施設	件数	0	0	0	0											0
	発症者数	0	0	0	0											0
計(月別)	件数	7	2	4												13
	発症者数	149	44	57												250

## 感染症の窓

インフルエンザは、インフルエンザウイルスに感染することで起こる病気で、日本では、例年12月～3月に流行します。普通の風邪と同じようにのどの痛み、鼻水、咳などの症状がみられますが、38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛などの全身症状が比較的急速に現れるのが特徴です。また、小児では急性脳症を起こすことがあるので注意が必要です。

インフルエンザウイルスは、A型、B型、C型及びD型に大きく分類されますが、このうち大きな流行の原因となるのはA型とB型です。

2025年は、例年よりインフルエンザの流行が早く、第47週にピークとなり、患者報告数の97%をA型が占めていました(図)。その後、患者報告数は減少し、2026年第4週から再び増加していますが、第4週以降はB型が多く報告されており、第9週には、96%をB型が占めています。

インフルエンザの主な感染経路は、飛沫感染と接触感染です。予防には、「正しい手洗い・手指消毒」、「咳エチケット」、「室内のこまめな換気」などが有効です。併せて、体の抵抗力を高めるために、十分な休養とバランスのとれた栄養摂取を日ごろから心がけましょう。

また、インフルエンザに対してはワクチンがあり、感染後に発症する可能性を減らすことや、重症化を予防することが期待できますので、かかりつけ医に相談のうえ、ワクチン接種を検討しましょう。

○詳しい情報はこちらをご覧ください。

☞ [インフルエンザ（総合ページ）](#)（厚生労働省HP）

## インフルエンザ

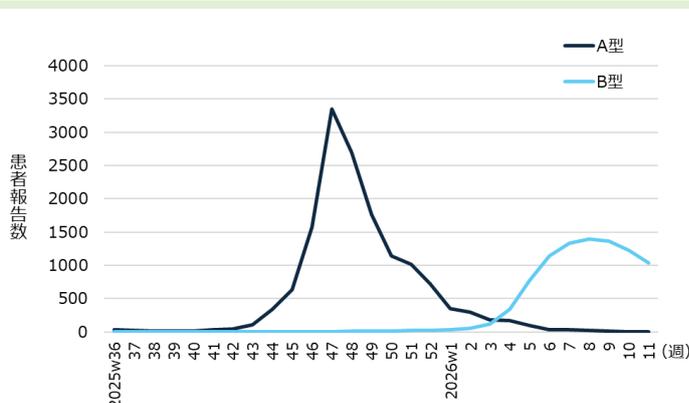


図 青森県における迅速診断キットによるインフルエンザ型別の患者報告数の推移 (2025/26 シーズン)

